

かがやき

令和5年 5月 12日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 2

変化の4～6月。頑張っている姿を整理、想像して。互いに寄り添って。

新年度がスタートして約一ヶ月が過ぎました。子供も大人も変化の時間を過ごしています。ワクワク楽しく過ごしている人。ももん我慢して過ごしている人。なんだかよくわからないまま気が付けば日々の荒波に乗っている人等々。いろんな4月からの時間を過ごしていると思います。学校ではいろいろな形はあれど、子供たちから溢れるキラキラエネルギーがほとばしっていた一ヶ月です。この日々は1日平均6時間。週五日。定時に起きてランドセルを背負って学校に行き、未知の体験の中から新しい発見や学びを得る。ものすごい量とスピードで様々なことを吸収していく毎日の始まりでした。ただ、輝くエネルギーをもつ子ども(大人)でも日々の生活は微妙なバランスによって成り立っているものでもあります。毎日の天候、気圧。意識しないルーティン。何気ない友達との会話。教室での空気。楽しみにしているゲームやテレビ。お家での晩御飯や朝ごはん。色々な物事のバランスを意識、無意識化の中で調整して日々は続いています。そして何気ない1日がともすれば奇跡的に成り立っていることもあるのだと思います。そんな変化が続く季節の中、「子供も大人も互いに頑張っている姿、できていることに意識を向けて寄り添って、励まし合って生活していきましょう!」と双方の立場からエールを送って運動会に進んでいければと思います。

「学校」という小社会の生活にある枠組み。

支援教室における1年生の指導が始まります。大人が子供だった時にはなかなか気が付かなかったことかもしれませんが、当然のことながら学校の中には様々な枠組み(ルール)がありますね。なので、小集団指導でも最初の方に枠組みの確認をゆっくりしていきます。教室でも多くの約束事について説明を受ける1年生です。ただ、主に自分の状況がよくわからないことが多いこと。自分の状態を示す言葉がまだまだ少ないことは当然あり、そのことで自分の気持ちをどう表すすれば良いかを選択することもまだ難しい課題です。そのため、必要に応じて小集団や個別の学習の中でも「言葉で伝える(あるいは、言葉以外の方法でも😊・😞等の表情カード)」ことを伝えていきます。最初に伝えるのは自分の気持ちや感覚を表す言葉です。「たのしい」「うれしい」「ふあん」「しんぱい」等の「気持ちの言葉」です。また、こうした言葉に連動させながら「つかれた」「ねむい」等の自分の状態を表す言葉のもつ意味や使い方についても状況に合わせて指導をします。「学校」という小社会は社会につながっています。自分の気持ちや感情をどのように伝え、どのように行動するか。例えば、「つかれました」ということをちょっとでも相手に伝えることができれば「休憩」という選択肢が生まれることがあります。いきなり怒ったり無言で出て行ったりすると自分の気持ちは伝わりづらくなるし、時に誤解されてしまうこともあります(乱暴な人・自分勝手等)。必要な方法で必要なことを伝えて行動していく。こうした枠組みがこの社会にはあります。どの方法がその子のベストかももちろん方法は一つではありませんが、まずは「学校」という小社会の枠組みのひとつとして「かがやき」では相手に自分の感覚や気持ちを「伝える」ことの勉強が第一歩です。

お知らせ

・保護者会への参加、ありがとうございました。

4月28日保護者会にご参加いただきまして、ありがとうございました。欠席されたご家庭には保護者会資料を同封させていただきます。今年度もよろしくお願いいたします。

・個別指導計画を配布します。

5月中に各ご家庭に「個別指導計画」を配布します。ご確認をお願いします。

※返却の必要はありません。もし修正をご希望の場合は、その旨を記載し、かがやきまでご返送ください。